

平成 27 年 1 月 22 日

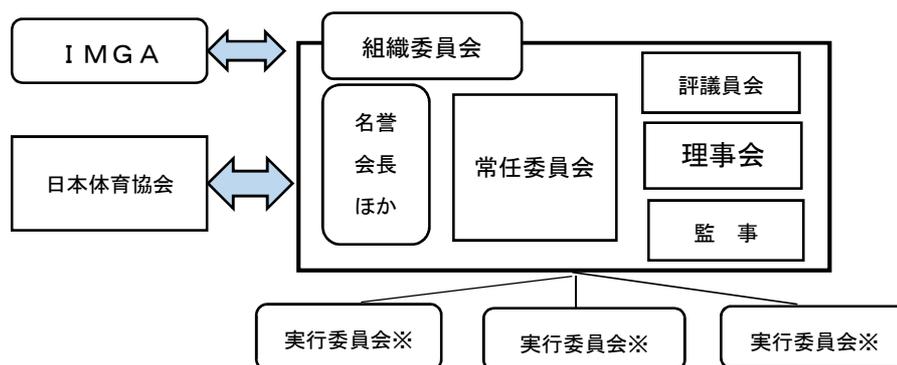
関西ワールドマスタースゲームズ 2021 の現状について

組織委員会事務局

1 組織委員会の設立

関西ワールドマスタースゲームズの実施主体となる「(一財) 関西ワールドマスタースゲームズ 2021 組織委員会」を平成 26 年 12 月 18 日に設立した。

(1) 推進体制



※競技会場決定後、各府県市に設置。各競技の実施主体。

(2) 主な役員・メンバー

名誉会長：森 喜朗（日本体育協会名誉会長）

名誉顧問：下村博文（文部科学大臣）、麻生太郎（スポーツ議員連盟会長）、

張富士夫（日本体育協会会長）、王貞治（日本アスリート会議顧問）他

会 長：井戸敏三（関西広域連合長）、森 詳介（関西経済連合会会長）

副 会 長：関係府県市首長、経済団体代表 他

事務総長：木下博夫（国立京都国際会館館長）

2 今後の予定

平成 27 年 2 月～3 月 東京方面でのプレス向け大会説明

3 月中・下旬 理事会

5 月中・下旬 理事会、総会（兼カウントダウンイベント）

平成 28 年 秋までに実施種目・会場を決定

3 今後の主な課題

《大会固有の課題》

- ・国内外における大会の知名度向上
- ・競技種目（種別）と会場決定 等

《中長期的課題》

- ・関西におけるマスタースポーツ、生涯スポーツの定着
- ・マスタース大会の先進地としての関西の創造
- ・関西への国際観光の増加、インバウンド対応の整備 等

以上



関西ワールドマスタースゲームズ2021

平成27年1月

一般財団法人関西ワールドマスタースゲームズ2021組織委員会

2021年

関西ワールドマスターズゲームズ2021を 開催します。



- 2021年5月の10日間(詳細は今後決定)、関西各地で競技を展開します。
- 参加選手目標は、5万人以上(内2万人は外国人選手)
- 生涯スポーツの先進地をめざしながら、世界に「KANSAI」の名を発信し、アジアのスポーツツーリズムの先駆的な地域をめざします。



「ワールドマスターズゲームズ」とは

国際マスターズゲームズ協会(IMGA)が4年毎に主催し、概ね30才以上の成人・中高年の一般アスリートが出場する生涯スポーツの国際総合競技大会です。

- 予選はなく登録すれば大会出場可能。参加基準は年齢のみで上限なし。
- 約30競技から成るプログラムに複数エントリーすることが可能
- 男女・年代別(通常5才ごと)に種目が行われ、各年代別にメダルが授与される。
- 元プロや元オリンピック選手も出場し、キャリアを超えて一般アスリートと競技を行う。
- チームスポーツやペアスポーツは、多国籍チームでの出場も可能
- 約10日間の大会期間と前後の観光滞在のため、生涯スポーツ大会では最長の滞在期間



ワールドマスターズゲームズとオリンピックとの違い



	ワールドマスターズゲームズ		オリンピック	
概 要	<ul style="list-style-type: none"> ●原則4年ごとに開催されるマスターズ世代を対象とした世界規模の国際総合スポーツ競技大会 ●2010年から冬季大会も開催されている。 ●国や地域を背おわず、誰でも参加できる。 ●ツーリズム・イベントとして認知されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ●4年ごとに開催される世界のアマチュアのトップクラスを対象とした国際総合スポーツ競技大会 ●各国・各地域から代表を選抜して参加する。 	
統括組織	世界:IMGA ヨーロッパ:EMGA アジア、日本を統括する組織は現在はない。		世界:IOC 日本:JOC	
実施組織	各都市が設立した組織委員会		各都市が設立した組織委員会	
近年の実施 (予定)都市	[夏季] 2002:メルボルン 2005:エドモントン 2009:シドニー 2013:トリノ 2017:オークランド	[冬季] 2010:ブレッド 2015:ケベック	[夏季] 2000:シドニー 2004:アテネ 2008:北京 2012:ロンドン 2016:リオデジャネイロ 2020:東京	[冬季] 1998:長野 2002:ソルトレイク 2006:トリノ 2010:バンクーバ 2014:ソチ 2018:平昌
選手の参加条件	概ね30才以上の方なら誰でも参加		各国オリンピック委員会(NOC)が選考	



ワールドマスターズゲームズ主催団体 (*IMGA: International Masters Games Association*)



<IMGA会長>

Kai Holm

元IOC(国際オリンピック委員会)メンバー、
元NOC(国内オリンピック委員会)デンマーク会長

<IMGA理事>

Tamas Ajan

IOCメンバー、国際ウェイトリフティング連盟(IWF)会長

Denis Oswald

IOCメンバー、国際ボート連盟(FISA)会長

Gian-Franco Kasper

IOCメンバー、国際スキー連盟(FIS)会長

Gianni Gola

国際ミリタリースポーツ評議会(CISM)元会長

Bob Elphinston

国際バスケットボール連盟元会長

Phil Craven

IOCメンバー、国際パラリンピック委員会(IPC)会長

Anders Besseberg

国際バイアスロン連合(IBU)会長

Don Porter

国際ソフトボール連盟(ISF)会長

Marisol Casado

IOCメンバー、国際トライアスロン連合(ITU)会長

Pat. McQuaid

IOCメンバー、国際自転車競技連合(UCI)会長

Jose Perurena

IOCメンバー、国際カヌー連盟(ICF)会長

Richard L. Carrion

IOC理事、IOC財政監査委員会議長

John D. Coates

IOC理事、NOCオーストラリア会長、スポーツ仲裁裁判所(CAS)所長

Carlos A. Nuzman

IOCメンバー、NOCブラジル及びNOCリオ会長

これまでの経過

○平成25年度実績

9/26 準備委員会設置

関西広域連合構成団体の長、関西経済連合会会長、関西経済同友会代表幹事、京都商工会議所会頭、大阪商工会議所会頭、神戸商工会議所会頭、堺商工会議所会頭、各府県体育協会の長
有識者

11/10 開催基本合意書に調印（井戸準備委員会会長、Kai Holm会長、Bob Elphinston理事）

11/6～11/13 IMGA査察（代表地点として兵庫・鳥取・京都・和歌山の競技施設を査察）

- ・Kai Holm（カイホルム）：IMGA(国際マスターズゲームズ協会)会長
- ・Marisol Casado（マリソル カサド）：ITU(国際トライアスロン連合)会長
- ・Bob Elphinston（ボブ エルフインストン）：FIBA(国際バスケットボール連盟)元会長
- ・Jens V. Holm（ジェンズ ホルム）：IMGA事務局長
- ・Samantha Hayward（サマンサ ヘイワード）：IMGAマネジャー



これまでの経過

○平成26年度実績

4/1 準備委員会 専任事務局設置 (10名体制:専任8、兼務2)

関西マスターズスポーツフェスティバル 創設 (2府5県4市で235競技、308大会、約9万人参加予定)

7/2 中央競技団体への説明会 (東京:岸記念体育会館、参加者:35競技団体、52名出席)

10/7 関西ワールドマスターズゲームズ2021の集い ~大会成功に向けて~ (大阪府立国際会議場)
参加者:国・自治体、議員、経済界、(公財)日本体育協会、元オリンピック、大学関係者等 約500名

12/18 一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会設立



ワールドマスターズゲームズの開催地と大会規模

関西大会は、ワールドマスターズゲームズの第10回記念大会、アジアで初めての開催です。



開催年		開催国	開催都市	開催立候補地	参加者数	参加国数
1985年	第1回	カナダ	トロント		8300	61
1989年	第2回	デンマーク	ヘアニング、オールボー オーフス(3都市開催)		5500	76
1994年	第3回	オーストラリア	ブリスベン・クイーンズランド州	ミネアポリス	24000	71
1998年	第4回	アメリカ	ポートランド・オレゴン州	ダーバン	11000	101
2002年	第5回	オーストラリア	メルボルン：・VIC州	ブダペスト、サクラメント	25000	97
2005年	第6回	カナダ	エドモントン	セビリア、ローマ、オタワ	22000	89
2009年	第7回	オーストラリア	シドニー：NSW州	滋賀、ミュンヘン、 モントリオール、コペンハーゲン	29000	95
2013年	第8回	イタリア	トリノ	コペンハーゲン、ストックホルム アムステルダム、デトロイト	19000	107
2017年	第9回	ニュージーランド	オークランド	バンクーバー、オタワ ゴールドコースト	25000 (目標)	
2021年	第10回	日本	関西		50000 以上	

関西ワールドマスターズゲームズ2021開催概要

競技(検討中)



コア競技(必須) 16	海外(人)	国内(人)	計(人)
アーチェリー	165	235	400
陸上競技	2,940	5,530	8,470
バドミントン	570	830	1,400
バスケットボール	750	1,250	2,000
カヌー	1,110	1,790	2,900
自転車	725	1,425	2,150
ホッケー	400	500	900
サッカー/フットサル	2,620	3,380	6,000
オリエンテーリング	950	550	1,500
ボート	900	900	1,800
射撃	420	430	850
ソフトボール	980	1,520	2,500
スカッシュ	270	270	540
卓球	470	730	1,200
トライアスロン	850	1,100	1,950
ウエイトリフティング	260	180	440
計	14,380	20,620	35,000

オプション競技(選択) 13	海外(人)	国内(人)	計(人)
野球(硬式・軟式)	980	1,520	2,500
ボウリング	320	580	900
ダンス/エアロビック	380	470	850
ゴルフ/グラウンド・ゴルフ	430	1,120	1,550
ハンドボール	380	420	800
柔道	170	330	500
空手道	60	140	200
ラグビーフットボール	370	530	900
セーリング	120	280	400
水泳	1,160	1,540	2,700
テニス/ソフトテニス	550	980	1,530
綱引	80	140	220
バレーボール/ビーチバレーボール	820	1,130	1,950
計	5,820	9,180	15,000
合計	20,200	29,800	50,000

WMG史上最大規模 目標 5万人超

スケジュール



平成26年度(2014) 専任事務局 発足
関西マスターズスポーツフェスティバル 創設
組織委員会 設立
開催地契約 締結



平成27年度(2015) 競技種目及び開催地の決定

～

平成28年度(2016) 開催地府県市実行委員会の設立 等

平成29年度(2017) ワールドマスターズゲームズ2017(ニュージーランド)への
出展・PR

平成30年度(2018) アジアマスターズゲームズ(マレーシア予定)への出展・PR

平成31年度(2019) ヨーロッパマスターズへの出展・PR
ラグビーワールドカップ2019(日本)との連携・PR

平成32年度(2020) 東京オリンピック・パラリンピックとの連携・PR

平成33年度(2021) 関西ワールドマスターズゲームズ2021開催



関西マスターズスポーツフェスティバル の開催について

- 関西全域における生涯スポーツの気運の醸成を図るため、関西版のマスターズ大会として関西マスターズスポーツフェスティバルを開催します。
- 主管: 関西マスターズスポーツフェスティバル実行委員会
- 構成: 11府県市、経済団体、府県市体育協会等で構成
(事務局: 関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会事務局)

「基本方針」

- ① 関西ワールドマスターズゲームズ2021開催に向け、生涯スポーツの裾野を広げるため、誰もが参加できるオープン型の大会を目的に関西マスターズスポーツフェスティバルを開催する。
- ② 関西マスターズスポーツフェスティバルの対象となる競技種目については、2021年大会の種目(コア・オプション)にとらわれず、生涯スポーツのムーブメントを醸成するため、関西各府県市の判断で、様々な競技種目を幅広く対象とする。
- ③ 開催する大会は、関西マスターズスポーツフェスティバル及び府県市〇〇〇スポーツ大会等(既存大会含む。)の冠称大会とする。将来的には、関西全体のスポーツ愛好家が参加できる関西全体大会の開催をめざす。
- ④ 優勝者には、関西ワールドマスターズスポーツフェスティバル実行委員会会長名義の表彰状を贈呈する。(11府県市共通)
- ⑤ 関西マスターズスポーツフェスティバル実行委員会は、各種大会を共催する。

【参考】平成26年度の冠称大会競技数(平成27年1月22日現在)



●滋賀県	滋賀県民総スポーツの祭典スポレクの部等	23競技23大会
●京都府	京都府民総合体育大会マスターズ部門等	14競技19大会
●大阪府	大阪府民スポレク共催スポーツ大会	23競技23大会
●兵庫県	ひょうご生涯スポーツ大会等	41競技54大会
●和歌山県	紀州口熊野マラソン等	22競技37大会
●鳥取県	鳥取県民スポレク祭	15競技15大会
●徳島県	徳島県健康福祉祭サッカー交流大会等	28競技54大会
●京都市	京都市総合体育大会等	15競技16大会
●大阪市	大阪市長杯市民マラソン大会等	14競技18大会
●堺市	堺市種目別優勝大会	18競技18大会
●神戸市	神戸市民体育大会等	19競技28大会

合 計 232競技305大会
(参加者総数 : 約9万5千人)